

「一般社団法人官民共創 HUB 主催のオンラインセミナー」のご案内です。

どなたでも無料でご参加いただけるオンラインセミナーで、政府渉外などの活動の基本となる行政の内部の動きなどを元厚労省の方が解説するものですので、よろしければ会員企業の皆様にもご案内いただけましたら幸いです。

■ イベント概要

日時： 2026年5月15日（金）12:00-13:00

テーマ： 政策作りの現場で重視される価値観、ビジネスとの違い

講師： 横山 悠里恵（株式会社千正組・元厚生労働省職員）

形式： オンラインセミナー（Zoom 配信、参加無料）

お申込み（Peatix）：<https://seisakujinnzai-2605.peatix.com/>

近年、サステナビリティ情報開示の動きなどが強まっており、事業活動で見いだした新たな社会課題や解決策を行政とともに広げることがますます大切になってきています。

また、人口減少のうねりの中、公的医療保険をはじめ社会保障制度の在り方も大きく揺らいでおり、事業活動と政策・制度の動きとの連動や、官民との対話の重要性が増しています。

他方で、官民の組織の在り方、思考法、意思決定プロセスには、大きな違いがあり、相互理解の障壁になっています。民間の方が、協働に向けて行政と建設的な対話を重ねるためには、政策の背景や行政への理解が大切です。

本講座では、政策の背景や行政への理解の基盤となる

- 行政官の思考回路・行動原理（なぜその判断がなされるのか）
- 政策立案のプロセスと制度設計の考え方（誰がどう決めているのか）
- 企業が戦略的に行政と対話するためのポイント（どう伝えるのか）

といったテーマを、官民双方の立場で官民連携を続けてきた千正組メンバー（元官僚・元自治体職員）が、実務視点で分かりやすく解説します。

特に、企業、業界団体、研究機関等の

- サステナビリティ推進部・ESG／CSV 担当
- 政府渉外・ルールメイキング・公共政策連携を担う部門
- 社会課題解決型事業やインパクト創出に取り組む事業部門

の方々にとっては、「なぜ提案が政策に反映されないのか」「行政とどのタイミングで、どのような関係構築が有効なのか」「どう説明したら刺さるのか」といった日常的な問いにお答えする内容となっています。

新たに政策に関わるようになった方や、新年度を迎えて改めて政策づくりについて考えたい方もぜひお聴きいただけますと幸いです。

■ 登壇者紹介

横山 悠里恵

2010年厚生労働省入省。労働政策・年金・地方創生分野を中心に、法令改正、法令の施行、法解釈によるルール明確化など、大小様々なルールメイキングを幅広く経験。出向先の内閣官房にて多数の省にまたがる政策を取りまとめる経験も多く、政府内の様々な意思決定プロセスを知る。

2021年7月末で退官し、大手総合コンサルファームにて、マネージャーとして中央官庁や地方自治体の事業を担当、2025年4月に千正組に参画。中央官庁の中と外の両方の経験を活かして、政策の流れを読み解き、官庁と丁寧に対話・連携をしながら事業を進めるのが強み。